

平成26年度第1回 新潟市地域公共交通会議質疑要旨

1. 開催日時

平成26年6月5日（木）午前10時00分～11時30分

2. 会場

新潟市役所第一分館6階 1-601会議室

3. 出席者（敬称略）

委員

新潟市都市政策部長 池田博俊

新潟県バス協会専務理事 高橋清吉

新潟交通株式会社乗合バス部長 和田徹

新潟市消費者協会会長 本多満喜子

市民代表（公募委員） 松川由人

国土交通省北陸信越運輸局新潟運輸支局首席運輸企画専門官 高橋義孝

新潟県警察本部交通部交通規制課交通規制管理官 三五紀男

新潟市土木部長 渡辺明德

事務局

新潟市都市政策部都市交通政策課

区役所

新潟市東区役所地域課

新潟市北区役所地域課

4. 議題

(1)東区・区バス運行について

①東区・区バス運行計画概要に基づき東区地域課の説明

②質疑応答

（意見・質問）松川委員

- ・ 東区バス河渡ルートは、収支率が100%を超えていると認識している。資料には、94%と記載されているが確認したい。

⇒（回答）東区地域課

- ・ 資料は、平成26年4月の実績を記載している。平成25年度1年間の実績は、河渡ルートで116%となる。河渡ルートは沿線の高校の生徒が通学に利用している。4月は、沿線の高校の春休みや天気の良い日の自転車通学等のため収支率が低くなるが、1年を通せば100%を上回る。

(意見・質問) 松川委員

- ・ 提案であるが、収支率が100%を超えるのであれば、路線バスに移管して、その分を他の地域に広げたり、松崎ルートを増便するなどしてはどうか。路線バスに移管することで、高校生は、バス会社の定期券が使えるようになり、運賃負担が軽減される。

⇒ (回答) 東区地域課

- ・ 河渡ルートについては、100%を超えているため、営業路線に切り替えることも含めて、東区全体の見直しを検討していく。

(意見・質問) 松川委員

- ・ 区バスのPR不足を感じる。一部の病院や大型ショッピングセンターには、区バスや路線バスなどの時刻表やガイドが案内所等に設置してある。未設置の病院やスーパーマーケット等にもっとPRをしてもらいたい。

⇒ (回答) 東区地域課

- ・ 病院や大型ショッピングセンター等には、区バスの時刻表を設置してもらっている。再度、スーパーマーケットへの設置等も加えて周知に努める。

③採決

- ・ 出席者全員の賛成で東区・区バス運行計画を承認

(2)北区・住民バス運行について

①北区・陽光・松浜・濁川地区住民バス運行計画概要に基づき北区地域課説明

②質疑応答

(意見・質問) 三五委員

- ・ 今回の住民バスの延伸について、バス停の新設があることから、事前に北警察署交通課に確認したところ、交通確保には問題がないとのことであった。バス停の新設等は、所管の警察署と調整をお願いしたい。

⇒ (回答) 北区地域課

- ・ 了解した。

(意見・質問) 和田委員

- ・ バス会社の立場から発言させていただく。今回の延伸部分は、旧国道7号線を新発田方面に運行することで、既存路線バスと重複し、その影響が心配される。今後は、事前に既存路線バスの影響について調査をするなど整理をした中で計画をしていただきたい。

⇒ (回答) 北区地域課

- ・ 既存路線バスの利用者と重複しないでスムーズな運行ができるように、住民バス団体と既存路線バス運行事業者が協議をして進めている。

(意見・質問) 本多委員

- ・ 新設するバス停の位置は、地元からの要望があった所なのか。
- ⇒ (回答) 北区地域課
- ・ 地元住民へのアンケート調査等を参考にした。今後は、バスの車内にもアンケート用紙を設置するなど、ニーズ調査を実施していく。

(意見・質問) 高橋清吉委員

- ・ 高齢化が進む中、公共交通空白地域をこういった形で運行することは、重要だと考える。その中で、需要を含めて1便を設定したと思うが、どのようなことからこの1便を決めたのか。また、今後需要が伸びた場合に、さらなる増便も考えられるのか。
- ⇒ (回答) 北区地域課
- ・ この1便は、豊栄病院の利用状況やその他の需要を踏まえて、現行住民バス運行事業者の配車対応が可能な範囲で設定した。今後は、利用状況を確認しながら住民バス団体と運行について検討していく。

(意見・質問) 松川委員

- ・ 去年の新聞記事で、7月から12月までの土休日に福島潟まで運行し、買い物客等により休日の利用数が平日の利用客数を上回ったと載っている。今回は、この時と延長・ルートは同じであるが北区文化会館で終わっている。この記事を見る限り、ビュー福島潟まで土休日も運行したほうが良いのではないか。
- ⇒ (回答) 北区地域課
- ・ 去年の実績で土休日の利用率は低く、さらにビュー福島潟までの利用者は、ほとんどいなかった。その分で今回のルートを充実させてほしいと住民から要望があり、地域での協議で設定された。

(意見・質問) 松川委員

- ・ 住民バスのダイヤを数分調整することにより、新崎駅でJRとの接続が可能になる。
- ⇒ (回答) 北区地域課
- ・ JRとの接続による利便性向上のため、実現に向けて住民バス団体と協議を進めていく。

(意見・質問) 松川委員

- ・ 要望であるが、新崎駅では区バス、住民バス、タクシー乗り場が何処にあるか分からない。利便性を高めるためにサインシステムを確実に設置することが必要である。江南区の亀田駅では、正面にしっかりと設置してある。また、デマンド交通も含めた公共交通マップを作成し、公共施設、病院、ショッピングセンター等に設置するなどして収支率を上げ、育てていただきたい。

⇒ (回答) 北区地域課

- ・ 北区自治協議会提案事業により、今年度一体的なPRを予定している。

(ウ) 採決

- ・ 出席者全員の賛成で北区・住民バス運行計画を承認

5. その他

傍聴者 6名